

## 第 5 章 計画推進に向けて

# 5 計画推進に向けて

## 1 都市計画の決定・実施

都市計画マスタープランに掲げた方針は、都市計画制度を通じて実行していくことが基本となります。ここでは、より具体的な都市計画の決定・実施を行う時期について、関連する分野別の基本方針に基づき、短期（平成 26 年度～平成 28 年度）、中期（平成 29 年度～平成 32 年度）の 2 段階で整理します。

なお、実施期間は現時点でのものであり、今後の社会経済情勢などの変化により、変更が生じる可能性があります。

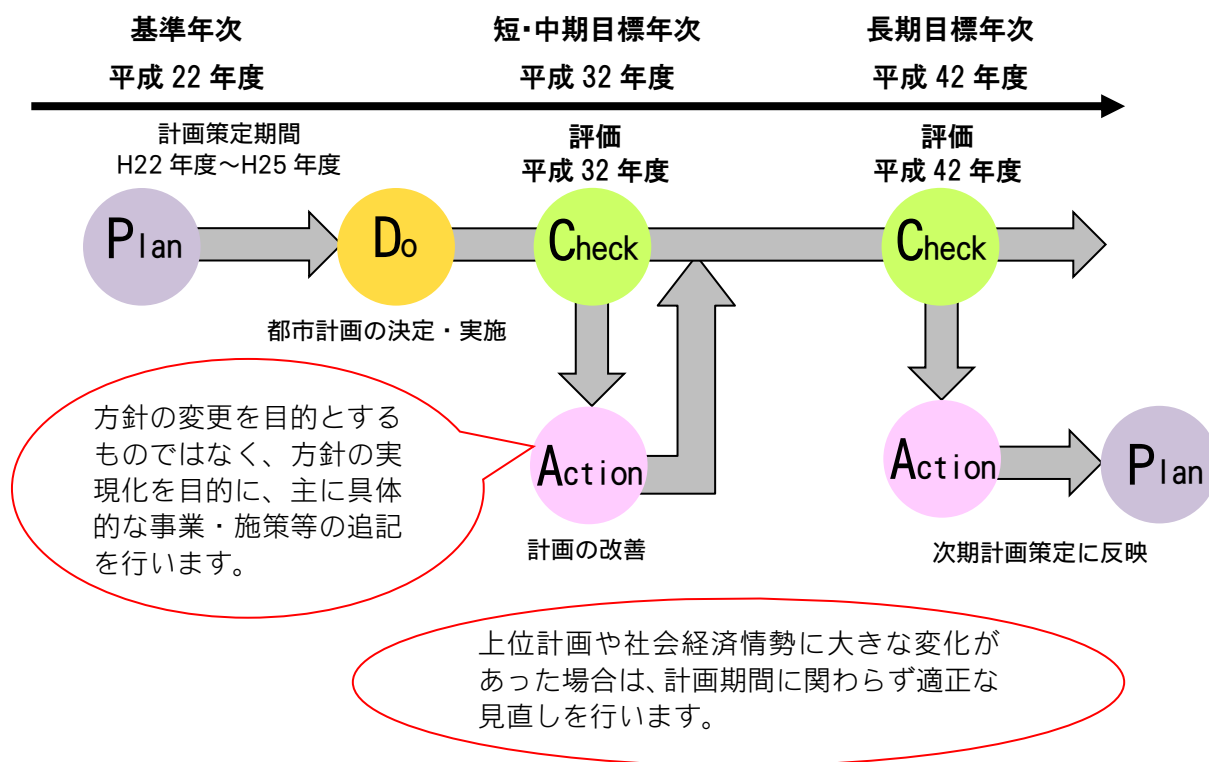
関連する分野別の基本方針				都市計画の決定・実施	短期目標 (H26～H28)	中期目標 (H29～H32)
土地利用	都市施設整備	都市防災	都市景観			
○		○	○	用途地域の見直し (第 1 種低層住居専用地域等)	完了 →	
○		○	○	用途地域の定期見直し		着手 → 完了 →
○			○	風致地区の見直し	調査 → 着手 → 完了 →	
	○	○		四国横断自動車道	継続 →	完了 →
	○	○		都市計画道路江田小松島港線	継続 →	完了 →
	○	○		都市計画道路芝生日ノ峰線	継続 → 完了 →	
	○	○		その他の都市計画道路 (都市計画道路月ノ輪金磯線等)	調査・検討 →	着手 →
	○	○	○	市総合グラウンド防災広場（仮称）	着手 → 完了 →	
	○	○	○	小松島市運動公園の見直し	調査 → 着手 → 完了 →	
	○	○		金磯南雨水ポンプ場	完了 →	
	○	○		污水处理施設 (公共下水道、合併処理浄化槽等)	推進 →	推進 →
	○	○		小松島市火葬場（仮称）	調査・検討 → 着手 →	完了 →
	○	○		市南部地域統合新中学校	着手 → 完了 →	

## 2 チェック機能の構築

### (1) 評価 (Check)

都市計画は一定の継続性、安定性が求められることを踏まえて、計画 (Plan) → 実施 (Do) → 評価 (Check) → 改善 (Action) により、短・中期目標年次 (平成 32 年度) および長期目標年次 (平成 42 年度) において適切な評価を行いながら、都市計画マスタープランの着実な推進を目指します。

ただし、上位計画の見直しや社会経済情勢の変化等により必要に応じて見直しを行います。



## (2) 評価の視点

評価にあたっては、都市計画の決定・実施などの進捗状況を整理するだけでなく、都市づくりの基本目標ごとに評価の視点や指標を設定し、都市計画基礎調査や国勢調査の結果などをもとに定量的に評価を行います。ここでは、代表的な指標の現状値と目標（方向性）をより具体的に示しますが、その他にも様々な指標を用いて、適切に評価を行います。

また、評価の結果等を公表し、市民が都市計画マスタープランの達成状況をチェックできる体制を整えます。

都市づくりの基本目標	評価の視点	代表的な指標	現状値の出典	現状値	短・中期目標 (H32)	長期目標 (H42)
集約・連携型都市構造の構築に向けた都市づくり	市街地に人や都市機能が集まっているか。	人口集中地区 (DID) ※の人口密度	H22 国勢調査	36.8人/ha	拡大	拡大
		中心市街地の空き店舗率	H25 市調べ	22.8%	縮小	縮小
		南小松島駅の乗降客数 (定期を含む1日平均)	H23 徳島県統計書	1,021人	拡大	拡大
活力ある地域産業を育む都市づくり	産業が活性化されているか。	1事業所当たりの製造品出荷額	H22 工業統計調査	54,400万円	拡大	拡大
		1商店当たりの商業販売額	H19 商業統計調査	10,025万円	拡大	拡大
		1農家当たりの経営耕地面積	H22 農林業センサス	95a	拡大	拡大
誰もが安全で快適に暮らせる都市づくり	都市施設の整備が進んでいるか。	都市計画道路整備進捗率	H23 市調べ	40.9%	65%	80%
		市民1人当たりの都市公園供用面積	H22 市調べ	1.8㎡/人	5㎡/人	10㎡/人
		汚水処理人口普及率	H24 市調べ	28.4%	39.3%	64.4%

都市づくりの基本目標	評価の視点	代表的な指標	現状値の出典	現状値	短・中期目標 (H32)	長期目標 (H42)
災害に強く安心して暮らせる都市づくり	防災・減災対策が進んでいるか。	津波緊急一時避難場所（避難建築物）の収容人数	H25 市調べ	19,363 人	拡大	拡大
		指定避難所の収容人数	H25 市調べ	10,441 人	拡大	拡大
		防災拠点となる市の公共施設等の耐震化率	H24 市調べ	68.9%	100%	100%
自然環境と共生した魅力ある都市づくり	農地や河川などの自然環境が保全されているか。	農用地区域の面積	H24 市調べ	1,740ha	1,882ha	1,882ha
		勝浦川の水質 BOD*	H24 とくしま水環境マップ	0.6mg/L	0.5mg/L	0.5mg/L
		神田瀬川の水質 BOD		2.2mg/L	2mg/L	1.1mg/L
		芝生川の水質 BOD		3.9mg/L	2mg/L	1.1mg/L
		立江川の水質 BOD		3.5mg/L	2mg/L	1.1mg/L
		太田川の水質 BOD		2.6mg/L	2mg/L	1.1mg/L

### 3 連携体制の構築

本計画の推進に向けて、行政が積極的に取り組むとともに、国や徳島県など他の行政機関、市民や民間事業者との連携を推進します。

種類	内容
国や県などの関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"><li>● 国や徳島県、近隣市町村など他の行政機関と連携・調整し、円滑な事業実施や補助事業の活用による財源確保、他事業との連携による事業効果増大など、総合的な視点に基づく施策展開を推進します。</li></ul>
市民や民間事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"><li>● 都市計画の策定過程において、情報を積極的に開示・提供するとともに、市民と行政との意見交換の場を設け、情報の共有を推進します。</li><li>● 地域の実情に応じた創意工夫あるまちづくりを進めるため、都市計画の提案制度を活用し、市民や民間事業者との連携・協力を推進します。</li></ul>
庁内関係部局の連携	<ul style="list-style-type: none"><li>● 都市計画は、産業や防災、福祉など、行政の様々な分野と密接な関連を持っているため、庁内の関係部局と情報を共有し、幅広い分野での施策展開が行えるよう、庁内の連携体制強化を推進します。</li></ul>